

議会だより

かみやま

第 38 号

2018. 11. 15

9 月定例会



下分てくてく栗生野<てくてく笑みの会>

新しい議会構成	2～3頁
平成29年度一般会計・特別会計決算認定	7～8頁
6月定例会一般質問	9～12頁
9月定例会一般質問	13～15頁

特別 委員 会	幹線道路改良整備	委員長	志 甫 守	委 員	森 佐 森	本 出 本	吉 由 孝	治 恵 夫	
		副委員長	河 野 雅 俊		西 新 杉	崎 居 本	哲 榮 哲	夫 二 男	
	国道改良整備促進	委員長	中 谷 秀 久	委 員	西 新 杉	崎 居 橋	哲 榮 義	夫 二 英	
		副委員長	高 橋 義 英						
	議会広報調査	委員長	森 本 吉 治	委 員	西 新 高	崎 居 橋	哲 榮 義	夫 二 英	
		副委員長	杉 本 哲 男						
	議会正常化	委員長	新 居 榮 二	委 員	河 森 志 杉 中	野 本 甫 本 谷	雅 孝 哲 秀	俊 夫 守 男 久	
		副委員長	高 橋 義 英						
		委 員	西 崎 哲 夫 森 佐 本 出 吉 由						
	監 査 委 員		河 野 雅 俊						

名西消防組合議員	西崎 哲夫（議長） 杉本 哲男（監査委員）	新居 榮二 中谷 秀久	河野 雅俊
----------	--------------------------	----------------	-------

平成30年9月2日執行の町議会議員補欠選挙で新たに選出された議員を議席順に紹介します。



1番 高橋 義英
阿野字南行者野・1期



2番 中谷 秀久
神領字西野間・1期



3番 杉本 哲男
神領字大埜地・1期



4番 志甫 守
阿野字本名・1期



5番 森本 孝夫
阿野字神木・1期

9月定例会は、平成30年9月12日から21日までの10日間の会期で開催した。提出議案は平成30年度一般会計補正予算2件、専決1件、29年度決算認定5件、条例の一部改正1件、教育委員会委員の任命他人事案4件、議員発議案1件を審議すべて可決、承認、認定、推薦、同意した。

一般質問では3議員が登壇し（13～15ページに掲載）それぞれ町の考えを質問した。

日	平成30年9月定例会議案事項	掲載項
第1日	<ul style="list-style-type: none"> ・町長挨拶 ・諸報告 ・議長、副議長選挙等議員議席の指定 ・常任委員会委員の選任及び所属の変更 ・議会運営委員、広報調査特別委員会委員、特別委員会委員の選任 ・議会常任、運営及び特別委員会委員長、副委員長の互選 ・名西消防組合議会議員の選挙 ・徳島県後期高齢者医療広域連合議員、阿北環境整備組合議員の選出 ・平成30年度神山町一般会計補正予算（2号）（専決） 【上程】【審議】【承認】 ・平成30年度神山町一般会計補正予算（3号） 【上程】 ・平成30年度神山町国民健康保険特別会計補正予算（2号） 【上程】 ・神山町集合住宅設置及び管理に関する条例の一部改正について 【上程】 	5～6頁
第2日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度神山町一般会計歳入歳出決算認定他4件 【上程】 ・監査委員意見書陳情 ・決算関係書類審査 	7～8頁
第7日	一般質問 森本吉治議員 佐出由恵議員 新居榮二議員	13～15頁
第9日	決算関係書類審査 議員研修	7～9頁
第10日	保留議案の審議（予算） <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度一般会計補正予算（3号） 【審議】【可決】 ・平成30年度国民健康保険特別会計補正予算（2号） 【審議】【可決】 	6頁
	保留議案の審議（決算） <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度一般会計歳入歳出決算認定 【審議】【認定】 ・平成29年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定 【審議】【認定】 ・平成29年度簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定 【審議】【認定】 ・平成29年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定 【審議】【認定】 ・平成29年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定 【審議】【認定】 	7～8頁
	保留議案の審議（条例の改正） <ul style="list-style-type: none"> ・神山町集合住宅設置及び管理に関する条例の一部改正について 【審議】【可決】 	6頁
	人事案件 <ul style="list-style-type: none"> ・神山町教育委員会委員の任命 【上程】【同意】 ・人権擁護委員候補者2名の推薦 【上程】【推薦】 ・神山町固定資産評価審査委員会委員の選任 【上程】【同意】 	5頁
	議会案件 <ul style="list-style-type: none"> ・議会正常化特別委員会の設置及び委員選任、委員長、副委員長の互選 【上程】【可決】 ・その他（議員派遣・委員会の閉会中の継続調査） 【上程】【可決】 	2～3頁

※第3日、第7日は議事の都合、4日、5日、6日は休日により休会とした。

町長の諸般報告

1ヶ月余り不在であった議長、副議長が決まり、各委員会構成も整ったことで、議会フルでご活躍をいただけるものと感謝申し上げます。

▼地方創生の総合戦略事業の中でシェフインレジデンス（日本国内、海外から料理人を招聘）事業ではシェフを招き料理を提供する催しが人気となっている。

▼9月9日東京で第23回目黒さんまつりが開催された。3万人を超す来場者があり、JA、役場職員のほか、すだちの若手生産者2名も参加し東京でのすだち需要の高さを実感し自信になったとの感想があった。

9月8日地域おこし協力隊の企画で奥渋谷で『すだちドレッシング』のワークショップ

プを行い、50名の参加を得た。

▼総務省安田事務次官、神山町を視察にくる。地方創生の取り組み方について、職員を視察にこさせたいとのこと。

▼第2回のオランダ訪問プログラム報告会が10月3日に改善センターにて開催の予定。今年もオランダから10名の中高生が神山町を訪れる予定だ。

▼地方創生関連の将来人口を維持する計画（2060年に3200人の人口維持）毎年移住者、転入者を44名が必要だが28年度は42名、29年度は39名と予定数には届かなかったが、計画に近い数字が

残せた。

▼30年度の地方交付税が3530万円減額となり、過去2年間で6000万円の減額となり、経費の削減と歳入確保に取り組み、優先順位の

高い事業から進めていきたい。

補正予算

土木費で若者定住支援住宅新築等補助金を追加計上。

災害復旧費、7号台風により町内で農地災害2ヶ所、林道災害4ヶ所、公共土木災害2ヶ所。

人事案件

○教育委員会委員の任命

任期 平成30年10月4日から

平成34年10月3日

阿部健治氏 上分字川又

○人権擁護委員候補者の推薦

任期 平成31年1月1日から

平成33年12月31日

川野愛子氏 鬼籠野字阿保坂

任期 平成31年1月1日から

平成33年12月31日

高橋静代氏 神領字谷

○神山町固定資産評価審査委員会委員の任命

任期 平成30年10月1日から

平成33年9月30日

森 公弘氏 下分字拝府



新築なった大埜地住宅

補正予算、条例制定、条例改正、その他

平成30年度補正予算

一般会計（第2号）	補正額	628万円（46億2466万円）
一般会計（第3号）	補正額	1億1527万円（47億3990万円）
国民健康保険特別会計（第2号）	補正額	411万円（8億3756万円）
予算合計	補正額	1億1938万円（55億7746万円）

（ ）は予算総額

	補正予算、条例改正、その他の主な内容	
総務課	◎条例一部改正 神山町集合住宅設置及び管理に関する条例の一部改正について	
	◎平成30年度一般会計補正予算（第3号）	
	・神山町公共的団体貸付金	300万円
	・施設改修工事	59万円
	・備品購入費	81万円
	・女性団員報酬金	17万円
住民課	◎平成30年度一般会計補正予算（第2号）	
	・神山町議会議員補欠選挙費	614万円
観光課	◎平成30年度一般会計補正予算（第3号）	
	・若者定住住宅新築等補助金	950万円
	・農山漁村未来創造事業補助金	218万円
建設課	◎平成30年度一般会計補正予算（第3号）	
	・現年農地農業用施設災害復旧工事	500万円
	・現年発生農地農業用施設単独災害復旧工事	200万円
	・現年林道災害復旧工事	2000万円
	・現年発生公共土木施設災害復旧工事	5000万円
	・現年発生公共土木施設単独災害復旧工事	600万円
教育委員会	◎平成30年度一般会計補正予算（第3号）	
	・環境改善センター修繕費	21万円
	・スクールバス修繕費	120万円
	・小学校施設修繕工事	140万円

平成29年度

決算

一般会計と特別会計合わせ

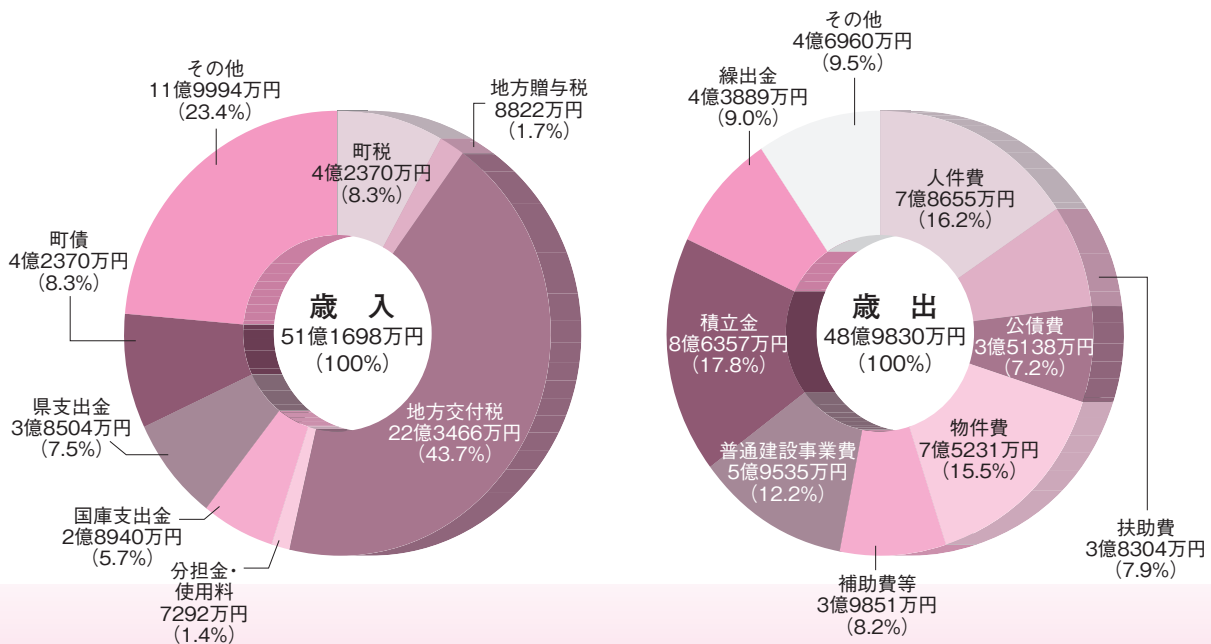
74億9040万円を認定!!

●平成29年度決算状況

(単位：千円)

会計区分		一般会計	特別会計				計
			国民健康保険	簡易水道事業	介護保険	後期高齢者医療	
歳入	29年度	5,116,985	1,021,000	212,965	1,017,578	121,872	7,490,400
	28年度	5,178,637	1,098,052	168,177	1,030,037	121,083	7,595,986
	増減額	△61,652	△77,052	44,788	△12,459	789	△105,586
	増減率(%)	△1.2	△7	26.6	△1.2	0.7	△1.4
歳出	29年度	4,898,307	985,387	208,087	995,934	121,495	7,209,210
	28年度	4,874,446	1,015,691	164,312	971,573	120,863	7,146,885
	増減額	23,861	△30,304	43,775	24,361	632	62,325
	増減率(%)	0.5	△3.0	26.6	2.5	0.5	0.9

●一般会計決算の内訳



29年度普通会計地方財政状況調査に基づくもので、決算額と一致しない。

税の公平化と収納に努力を～町税等 滞納総額 3360万円

●平成29年度の財政状況

名 称	指 数		解 説
	29年度	28年度	
財 政 力 指 数	0.20	0.21	1に近く1を超えるほど財源に余裕がある。
経 常 収 支 比 率	75.9	75.7	財政構造の弾力性を判断する指数で、75%程度に納まるのが妥当と考えられている。
実 質 公 債 費 比 率	2.3	2.6	全ての事業の公債費率で、18%以上は起債（借入金）に知事の許可が必要。

●平成29年度町税等未収金の状況

(単位：円)

区 分	未 収 額		前年度との比較	
	29年度	28年度	増減額	増減率 (%)
町 税	24,798,713	28,206,583	△3,407,870	△12.1
町 営 住 宅 使 用 料	183,100	620,700	△437,600	△70.5
国 民 健 康 保 険 税	7,579,032	9,248,350	△1,669,318	△18.0
簡 易 水 道 使 用 料	154,800	197,130	△42,330	△21.5
介 護 保 険 料	487,500	712,100	△224,600	△31.5
後 期 高 齢 者 医 療 保 険 料	114,900	155,800	△40,900	△26.3
計	33,318,045	39,140,663	△5,822,618	△14.9

借入金や基金はいくらに
なっているのか

●地方債現在高(3月31日現在)
32億9547万5千円

●基金残高(3月31日現在) (単位：千円)

一 般	財 政 調 整 基 金	4,434,943
	減 債 基 金	925,685
	庁 舎 等 増 改 築 基 金	2,137,000
	そ の 他 の 基 金	1,275,118
国 保	財 政 調 整 基 金	50,000
	そ の 他 の 基 金	5,000
水 道	簡 易 水 道 事 業 基 金	31,280
介 護	介 護 給 付 費 準 備 基 金	147,525
	そ の 他 の 基 金	0
計		9,006,551

平成29年度「一般会計・特別会計」決算を認定

決算額では総務費が16億3400万円で33%と最も多く、次いで民生費が9億8600万円20.1%、土木費4億5000万円9.2%などとなっている。

前年度比で商工費が81%、土木費が25.5%増加。要因は多目的イベント広場整備工事、大埜地集合住宅建設工事、熱供給施設整備工事、公営住宅建設工事によるものである。

町税の収入未済額は2479万円で、前年より340万円減少しているが尚一層の徴収に努力するよう監査委員からの指摘である。

一般質問



西崎哲夫 議員

質問①

上分公民館の管理運営委託に続き、他地区公民館の委託を推進するにつけ、上分公民館の事例は大きな意味を持っている。3月定例会新年度予算審議に於て、委託後の検証について質疑をした。答弁として検証は実施することとした。このことについて、何時どの様な方法でどの様に検証されるのか。

答弁（教育次長）

指定管理が始まって3ヶ月弱が過ぎた。4月5月は総会等が多くあったが各種団体と協議や確認をしながら進めている。今迄あった問い合わせとして、前任と同じサービスを受けられるのか不安、前と比して何が変わるのか解らない。職員は女性が良かった等々であった。受託者としては従来のサービスを提供するため教委や各種団体と連携しながら進めたということである。

再問

指定管理委託者の聞きとりや、話

- ① 上分地区公民館、管理委託後の検証について。
- ② 上分地区に続いて、町内他地区への集落支援員の配備について。
- ③ 天神丸風力発電計画（仮称）について。

し合いにより改善を図ることが検証ではない。検証とは出来るだけ多くの地域住民や各種団体等々に聞きとりや調査を実施しそれを教育行政の視点で分析評価するのが検証である。改善策は検証ではない。検証に基づき対応することが改善策である。質問では改善策は求めていない。

質問②

集落推進員の配備が、今秋より上分地区に配備されることだが、引き続き下分、左右内、鬼籠野、阿川、各地区への配備もすべきではないか。上分地区は人口430人、高齢者率が68・83%、75歳以上が全人口の中で49・3%と半分が75歳以上である。集落推進員を配備してどの世代に対応して反応に対処するのが大きな課題である。配備の時期を全く失していると思う。各地区の地域力がまだかなり残っている時点での配備が必須だと思うがどうか。上分地区を試行的にやってみて、他の地区はそれを見てからという行政の気持があるとするれば配備の機を失する。

答弁（町長）

役場職員もどんどん減っていかざるを得ない現状、計画のない他地区

も地域力が低下する中で、地域から信頼されることが要求される支援員を受理していただける方の課題が急を要するのかなと思う。町民は上分地区の先例を観察しており、先ずは上分地区のこの制度を成功させることによって、他地区にも展開していくことだと思う。財源については総務省の国の財源のみならず、条件が整いさえすればいち早くこの様な措置も講じてみたい。

質問③

(イ)天神丸風力発電計画（仮称）について、全協で配布の資料を見ると、○神山町としての意見は、自然エネルギーの利活用については町民の理解も得られるし、環境への影響を回避する最善策を講じることを求めるとなっている。○徳島県知事の意見は、あらゆる措置を講じてもおおきな影響を回避する又は提言出来ない場合は、本事業の取り止めも含めた計画の抜本的な見直しを行うとなっている。取り止めを含めたこの文言が県には有り、神山町にはないこの温度差は何なのか。

(ロ)提案だが、1市2町の意見合意を含めた調整のために1市2町の調整

連絡協議会みたいな会を起ち上げたらどうか。
(イ)今町内でも太陽光発電で面的にもかなり広い耕地がパネル設置の現状がある。自然エネルギーの利活用と背中合せに、耕地が次元の異なる施設用地として変化する実情に、町長の基本的な考えをお伺いする。

答弁（町長）

(イ)県と町の意見の温度差について、町の方がちよつとやさしいののではないかととらえ方と思うが、中身については表現よりはるかに厳しいものであることを表明させて頂きたい。
(ロ)1市2町の協議会の起ち上げについては、各々の自治体の実情が違うことから難しいのではないかと思う。
(ハ)太陽光発電の適地がほとんど国内で実施されていることから、中山間地への計画が進出していることから、課題も多くある。自然環境への影響、土砂災害等への配慮を考えて、建設については慎重に対応する必要があると考える。



天神丸風力発電建設予定地

一般質問

森本吉治 議員



①学校、公民館の安全対策 ②旧阿野橋の撤去について

答弁（教育長）

質問①
小、中学校の不審者対策として防犯カメラは設置されているか。

町内の小、中学校には設置されていない。近隣市町村で設置されているのは佐那河内村だけである。来年度、文部科学省の学校安全総合支援事業（全額国費）を活用し防犯カメラの設置を考えている。

質問②

民家から離れている、阿川、鬼籠野公民館の安全対策は（女性職員1名のみ配置）。

答弁（教育長）

緊急時には警備会社に直接つながる連絡設備は備えている。今のところ防犯カメラの設置は考えていない。

質問③

3月に新しい阿野橋が開通。旧阿野橋の撤去時期は。台風、梅雨時の増水時の被害が気にかかる。

答弁（建設課長）

管理をしている県土整備部徳島庁舎担当部局に確認した結果、今年度鮎喰川河川敷に大型クレーンを搬入することから、台風など洪水の起きやすい時期を避



阿野橋の現況

け、広野側から半分程度の上部工や橋脚2基を撤去、残りは来年度以降同様に非出水時に行う予定とのこと。

一般質問



佐出由恵 議員

① 町営住宅への進入路について ② 駒坂の潜水橋について

質問①

高瀬団地への進入路は、現在の建築基準法を満たしていないうえに急勾配で狭いため、住民



高瀬団地進入路

の方から「土砂災害時に避難路として使用できないのではないかと」か、「救助に必要な車両が入って来られないのではないかと」との声がある。
また、シルバーカーやベビーカーを押して急な坂道を歩くのは危険なため外出を控えること



歯ノ辻団地進入路

も考えられる。健康寿命を伸ばして頂くためにも広く緩やかな勾配の道が必要ではないか。
歯ノ辻団地においても、段差のため車体の底部を擦ったり歩き難くなっている。消防格納庫の建設時に進入路の整備が可能ではないのか。

答弁（住民課長）

高瀬団地は勾配が急だとは思うが、高瀬、歯ノ辻団地とも現在の道を使用していきたい。町内の12の団地等も老朽化が進んでいるが、住宅施設等の修繕と維持管理に努めていきたい。

質問②

「四国八十八箇所霊場と遍路道」の世界遺産登録の気運が高まっているが、遍路道でもある駒坂の潜水橋は増水時には通行出来ず幅も狭く滑りやすいため危険である。また井ノ谷、駒坂

の間が通行止めになれば、青井夫か日浦へ迂回しなければない。
お遍路さんの安全確保と町民の皆さんが安全安心に暮らすためにも、迂回路となり得る橋が必要だと考えるが、町としての見解はどうか。

答弁（建設課長）

河川を管理する徳島県の河川占有許可が必要で、河川協議の結果「潜水橋であれば認める」ということで施工しているの
で、現状でいきたい。



駒坂橋の現況

一般質問



新居榮二 議員

① 神山町農村環境改善センターについて ② 読書の手紙よりについて

ります。他地域から来町された団体などの時間割引等はないのかとそういう質問があるが。

答弁②（教育次長）

グリーンバレーからも要望が出ていますが今後検討していく。

質問③

男子トイレ1階に洋式トイレ1個ついているだけで2階、3階は和式ばかりで女子トイレは調べていないが昭和57年開館以来もう37年も経つので施設の改修を要望します。

答弁③（教育次長）

水洗トイレは確認していないが今後検討課題とさせていただきます。

質問④

施設北口入口付近に乱雑に荷物が積み重ねられていて地震・火災等が発生した折避難誘導路に大勢が殺到して逃げ切れないのではないかと大勢の意見があります。説明を。

答弁④（教育次長）

写真をみる限り移住交流支援センターの物で処分のできない物があるか確認して指導をさせていただきます。

質問⑤

気に入ったランドセルを購入しようと思えば入学の1年位前に予約しなければならぬ。大型化して価格が非常に高額になっている。最近では児童が使用する教科書が大判になり教科の種類も多いためランドセルが大型化している。それらを毎日持ち運びする児童は大変です。児童は登校前か前日の夜に時間割り表を見て必要な教科書などを用意しますが従来の時間割合せから発想を変えて各自がその家庭でする宿題や自主学習に必要な教科書、教材などを用意してもち帰る方法にすれば良いと思う。そうすれば児童が重い荷物を毎日持ち運びする苦勞も少な

くなり忘れる事も減ってきます。教材を用意できていない児童は十分な学習ができません。この事は児童だけでなく教師にとっても大きな悩みです。一考してみたらどうでしょうか。これは大井敏之氏の案ですが小学校低学年1年生から3年生を対象に実施したらどうか。

答弁⑤（教育長）

前例踏襲にこだわることなく改革していくことは大切なことだと考えております。下校前には時間割をするかどうかについては学校長の権限にあり学校長に対してはこうした事も踏まえ保護者に理解していただきながら根気強く指導してもらいたい。



農村環境改善センター西側

答弁①（教育次長）

指定管理の状況ですが事務職員として通常事務局長、主任職員、一般職員の3名体制での運営を行っている。休日や業務の多忙期には臨時職員での対応で人数が6人になっている。

質問②

町条例に定められている利用料金だと一日使用すると2万円、半日だと1万円と聞いてお

一般質問

森本吉治 議員



質問①
町内の空き校舎を利活用するため、利活用したい町民から1



鬼籠野旧校舎

① 空き校舎の利活用について ② 神山温泉経営診断のその後について

ヶ月また1年かとか借りたい場合の使用料金の問い合わせがあるが、使用料金は決まっているか。

答弁（教育長）

一時的に空き校舎を使用する場合は神山町立学校使用条例により対応している。使用目的を記載した申請書を提出していただき、教育委員会が判断し許可することとなっている。

教室の使用料は1日当たり、午前8時30分から午後5時までが1050円。

夜間午後5時から午後10時までが2100円。

質問②

本年3月に報告された神山温泉、道の駅の経営診断、今後の活かし方について。

答弁

神山温泉の今後、持続可能な経営状況を実現するため多角的な考えで進めていかなければならないと思っている。

将来を見据え経営診断を活かしていくが短期的には、温泉心臓部のボイラーの修繕、また四



道の駅売店



ホテル四季の里

季の里フロアの傷みがあるので神山材を使った床に変えたい。玄関エントランスの雨漏りがあり修繕など直近の対応は致したところである。また植栽関係も周辺の樹木、景観作りに努めていきたいと考えている。
住民と情報、サービス等を共有し温泉をもり立ててゆき、住民と手をつなぎ全国の成功事例の1つとなることを基本としていきたい。

一般質問



新居榮二 議員

- ① 生ゴミの処理について
- ② ドローンの免許取得について
- ③ ランドセルについて

を微生物で処理堆肥化にする簡単な説明があり神山町で生ゴミを収集されているが全量は何の位の量が説明を求む。

答弁（住民課長）

平成29年4月から収集処理の業務を実施しているが町内では3820kgの収集をしている。

質問②

未来へ挑戦する人を応援するAIやビッグデータIoTや産業の生産性や新しい市場も創出する第四次産業革命ドローンの免許が神山町鬼籠野小学校旧校舎で市内の民間業者が、9月20日から3日間で資格の取得できる試験があり6名の方が受験しました。初めての試みなので神山町の宣伝になる為協力してはどうか。

答弁（町長）

ドローンの今後の見解や重要性は高まっているのがわかりますがPR等については民間業者



なので控えさせてもらう。

答弁（教育長）

一般の企業の活動なので施設は貸すが人員を派遣して協力する事については検討していない。

質問③

入学時のランドセルが大型化して重すぎるランドセルと題して文部科学省が各都道府県へ通告したそうですが当然教育委員会へも通告書が届いているはずですが私が6月の定例会で質問した時素早く動いてくれていたから全国でも脚光を浴びていたはずですが後手に回ったのが残念でくやまれます。事情もあるのでしょうか説明を求める。

答弁（教育長）

6月定例会では「下校前に時間割あわせをする」かどうかについて答弁した。

文部科学省から通知されたことについては、すでに町内の学校では適切な配慮ができていますが、今後ともより適切な配慮ができるよう指導していく。



西分の家でのキエー口説明会

質問①
9月8日に鬼籠野西分の家で神奈川県葉山から考案者の松本信夫夫妻の講演がありキエー口（木製の箱）について生ゴミ

一般質問



佐出由恵 議員

質問①

近年地震や豪雨による災害が多発しており、大阪北部地震と北海道胆振東部地震では、今まで知られていなかった断層が動いた可能性が指摘されている。いつ大規模災害が発生してもおかしくない状況において、避難所の運営についてどのような受



① 大災害時における避難所運営について ② 太陽光発電のソーラーパネル設置の規制について

け入れ規模を考えて計画を立てているのか。

答弁（総務課長）

大規模災害時の避難所運営については、町職員の職員実働マニュアルを策定している。非常体制配備基準として4段階のケースを想定している。

大災害時は、震度6弱以上の地震を想定し全業務を全て停止し応急業務を最優先して全職員が配備に付き、避難所運営には37名の職員を配置する計画である。備蓄物資は一部の食品を除き7日分の配備が完了している。現在の収容可能人数は、31ヶ所4、360人となっているが、広域避難については県からも指示があり、今年から計画を立てて進める。

再問①

私達議員も、町と協力し災害発生時に対応出来るよう態勢を整えるべきと考える。

質問②

ソーラーパネルによる災害時の被害が報告されている。将来的には、不適切な廃棄処分により有害物質による土壤汚染が考えられる。事業用の場合は20〜30年後の事業終了後撤去されず放置され、所有者が特定できないことも懸念される。

設置や廃棄に関して何らかの条例やガイドラインの制定が必要だと思うが、町としてはどのように考えているのか。

答弁（町長）

不採算性の施設の事業者が撤退する時、その施設がそのまま残される懸念も有る。徳島県で



は条例等を制定する動きはないが、美しい神山町を次世代につないでいくといった観点に立つべきだ。

徳島県が環境省に「環境影響評価準備書」について意見書を提出し、それを受け経済産業省が認可することになっている。また、町としては、農地は農地法、地すべり指定地域が多く規制できると思っている。

再問②

町内の環境や景観を守るためには条例やガイドラインが必要で、関係機関と連携して対応すべきと思う。

議員研修

勝名地区監査委員視察研修に参加して

5月16日より3日間、勝名地区監査委員、事務局14名で京都市府和東町、大山崎町の視察研修に参加。和東町は、昭和29年12月に合併して発足し、京都府南部、奈良県の北に位置しており、周囲を山に囲まれその麓の谷間に集落が点在、人口4026人の町である。周囲を山に囲まれた土地ゆえに、かつて和東の名が広く知られることはほとんどありませんでした。その中で和東の町と他の地域を繋いだものこそがお茶でした。和東町に息づく宇治茶生産800年の歴史は、和東の茶農家の情熱と谷の地形があつてこそ、現在に至る



視察先の和東町役場

まで町の生業として続けている。茶園面積574・7ha、茶生産農家戸数292戸、荒茶生

産量1251t、荒茶生産金額3038百万円、製茶工場数129工場と、現在和東で生産される茶葉は、京都府産の約半数を占め、その品質からも和東のお茶は全国有数の高級茶の一つに数えられています。和東町の監査実施状況、月例監査実施状況、決算監査実施状況についての研修説明があり、意見交換を行った。

大山崎町の歴史は古く、明治22年の市制町村制施行とともに、大山崎荘・円明寺村・下植野村の3つが合併して大山崎村になり、昭和42年11月には人口の増加にともない大山崎村から大山崎町となり現在に至っており、京都府内で一番面積の小さい5・97km²で、コンパクトさを



大山崎町での研修

強みとし、人口15、863人、産業別人口では、第3次産業が7割を占めている。

研修会では、監査業務の現状・問題・留意点についてで、大山崎町監査実施計画・実施要領・監査等対象所管別実施計画日程表・現金出納簿兼公金出納日計表等について説明を受け、意見交換を行った。

(河野雅俊)

四国四県町村監査委員協議会 研修会に参加して

7月12日～13日、琴平温泉琴

参閣にて、講師 公認会計士・

税理士で愛媛県砥部町代表監査

委員の影浦 浩二氏を迎えて、

例月出納検査の視点(検査目的

の分解と体系的整理)と云う講

演を受けた。例月出納検査に

は、1 例月で検査すべきと考

える「範囲」と 2 その検査

手続きの「適用方法」に違いが

あるのではないか 目的として

(1) 法律的根拠 (2) 情報の二面性

(ストック情報とフロー情報)

について 検査の意義として

(1) 監査、検査及び審査 (2) 監

査、検査審査の使い分け① 監査

と審査は、両者ともに同じく全

体としての評価をするもので、

少々のこととはあっても「全体と

して」出来ている、許容できる

と評価できるのかということ。

加えていうと、監査と審査の違

いは、監査には「批判的」機能、

「指導的」機能が入ると監

査になる。これに対して、「検

査」とは、論者によれば監査や

審査より「もつと深く見てもら

いたい」と云う意図もあるよう

で、正解なのか、正解でないの

か、すなわち白なのか、黒なの

か、ここに、主観の入る余地は

ありません。ここに、検査の「本

質」がある。検査等のやり方に

は、2つの方法がある。

・ 「試査」とは、いわゆる一

部のサンプルをチェックすること

・ 「精査」とは、全部、全件

チェックすること。私たちの検

査等でも、原則として精査は有

り得ない。検査等するのは、あ

くまで試査です。試査でしか検

査等が成立しない理由には1)

2) 能力的制約 3) 内部統制

の存在 内部統制とは、日常業

務の中で誤り・不正等を職員自

らがチェック、自動的に防止・

発見できる体

制のことで

す。現金に関

する責任は、

「軽」過失で

あっても責任

を問われるの

です。リスク、

問題に至って

はいないもの

であつても

「ホコロビ」が

あれば、出来

るだけ早く見

つけてあげて

ほしいと思ひ

ます。だから、

職員の方々が

これらのリス

クを意識して

十分な説明責任を果たせるよ

う、検査における追及、質問の

仕方も工夫してあげることが、

大事なのかもしれません。

(河野雅俊)



四国四県町村監査委員協議会研修会の様子

平成30年度

徳島県町村議会議員研修会

徳島県町村議会議長会主催で県内議会3団体連携事業が8月8日に徳島グランヴィリオホテルで13時30分より開催された。2回目の県内議員3団体連携事業で総勢400人余名の議員が参加した。

会長挨拶で徳島県町村議会議長会会長 高橋 勲氏が2回目の過程を説明し来賓挨拶で徳島県議会議長 重清佳之氏と徳島県市議会議長会会長 井上 武氏が挨拶して講演に移り13時45分～15時15分までNHK解説副委員長 島田敏男氏が安倍政権の今後と政局の行方と題して

- ◎ どうする日本の領土
 - ◎ 見えたか安倍外交の基軸
 - ◎ 憲法解釈変更の先は？
- 内容の濃い講演でした。
- 続いて15時30分～17時まで秋の安倍首相の訪中に向けた日中関係の新展開（習近平の国際戦略の内実）と題して富士通総研経済研究所主席研究員 柯 隆氏が
- ① 東アジアの地政学のリスク
 - ② 世界のトレードオフ
 - ③ TOP RISKS FOR 2018
 - ④ 習近平時代の到来
 - ⑤ 習時代はどういう時代か
 - ⑥ 習時代の政策課題
- 等27の議題を講演し結論として貿易戦争をきっかけに中国国内で権力闘争激化の可能性や貿易不均衡は是正されず貿易摩擦

は長期化し日本企業は中国で内販する工場をそのまま維持するだろうが輸出のための工場を東南アジアなどへの検討が本格化するだろうと締めくくり内容の充実した講演でした。その後17

時15分より島田敏男氏、柯 隆氏、飯泉知事も参加した交流会が開かれ意義深い来年につながる研修会となりました。

（新居榮二）



徳島県町村議会議員研修会の様子

四国四県町村長、 議長大会に参加シマ

9月26日徳島グランヴィリオホテルで開催された、標記の大会に参加しました。四国四県の町村長、議長が参加のもと、午後から開会され、開会行事では本町の後藤町長が地元徳島県町村会長として歓迎の挨拶をしました。記念講演では2名の講師による講演がありました。はじめに、K・Kときわ 代表取締役社長 高畑富士子氏より、「その場所で、暮らすこと、できること」と題して、女性経営者としてきめ細かな経営理念が実践されている報告を傾聴しました。コスチューム、コンシエルジュ、レストラン、宿泊を社業とし、従業員125名(男性36名、女性89名)であるため多様な女性社員に対する取り組みがなされている。

- 一、コアタイムなしの完全フレックス制度
 - 二、「子育て支援」
 - イ 子の看護休暇
 - ロ 入学式、卒業式のための休暇
 - ハ 育児サービスに関する助成
 - 会社指定の保育所2ヶ所(利用費70%〜80%会社負担) ○インターナショナル事業所内保育所開設(土日祝預可、365日開園)
- 等々、紙面の限定上、多くを紹介できないが、男女共同参画社会の先取り企業として、見聞の価値は高いと感じた。
- 2人目の講師は株式会社メデアドゥホールディングス 代表取締役、社長執行役員 藤田恭嗣氏の「私の地方創生への挑

戦」と題しての熱い想いを聞きました。

那賀郡(旧)木頭村出身で、東証市場第一部上場企業代表を務める傍ら、徳島に「株式会社メディアドゥテック徳島」を設立し、木頭柚子の製造、販売を行う「農業生産法人黄金の村」を設立する等、故郷木頭の振興にも精力的に取り組んでいる。

その一端となる「キャンプパークキトウ」が10月5日オープンとの報道もある。過去にダム建設の是非に揺れ動いた旧木頭村の元助役を父君とする氏の、故郷木頭に対する思いは鮮烈で、聞く者の胸

を打つ。紙面の都合で詳細は割愛するが、今は企業誘致ではなく、優秀な個人誘致であるとの話しに故郷思考の強い企業経営者の言葉にはうなづかされた。

(西崎哲夫)



四国四県町村長・議長大会の様子

平成30年度 広野地区大運動会

9月23日

広野小学校校庭



小学生による阿波おどり



南岸北岸綱引き大会

議会の動き

10月

2日 議会広報委員会

10日～11日 定例監査(出先機関)

11日 主要地方道石井神山線並

びに高原石井線整備改良

促進期成会

18日 四国地区町村議会議長会

研修会(高知県)

22日 主要地方道神山鮎喰線整

備改良促進期成同盟会

22日 議会広報委員会

23日・25日 定例監査(本庁内)

11月

1日～2日 監査委員全国研修会

20日～22日 第62回町村議会議

長全国大会・徳島県町村

議長会研修

下旬 議会運営委員会

12月

上旬～中旬 12月定例会



公職選挙法違反になるお
それがありますので町内
の有権者には年賀状など
の挨拶状は控えさせてい
ただきます。

議員一同

編集後記

季節の移ろいは、天地変動、
時事変化に関係なく、確実に秋
は冬に移行してまいります。

神山町議会の紛糾により8月
15日出版予定がやむなく流れ、
ようやく出版の運びとなりました。
紙面は補欠選挙で当選され
た新議員の紹介、議会構成を中
心に、一般質問は6月定例議会
の分と併せて載せることになっ
てしまいました。本紙の取材構
成等については、議会の情報公
開としての手段、又、町民の皆
様との接点として、議員手づく
りで発行いたしております。常
に町民の皆様のご意見、ご批判
を真摯に受けとめて信頼される
紙面づくりを心掛けてまいりま
す。

ご指導の程よろしくお願い申
し上げます。
(西崎哲夫)